

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： 自然放射線被ばく研究ネットワークの構築
代表者名： 床次 眞司
所属機関名： 放射線医学総合研究所

コメント

本提案は、アジア主要国（中国・韓国・タイ・インド）において、自然放射線による被ばく線量を標準化された手法を用いて評価することを目的とし、被ばく評価手法の標準化、内部被ばく評価、外部被ばく評価、健康影響評価に関して、国内4機関が合同で研究を進めるとともに、上記4カ国の研究機関と共同で各国の現地調査を展開しようとするものである。

自然放射線による被ばく線量は、放射線源使用施設などにおける規制限度に比べても高い場合がある。その状況が国や地域などにより異なることなどが報じられ、健康への影響にも注目が寄せられつつある現在、自然放射線による被ばく線量の調査や低ばく露レベルでの健康影響解明は、取り組むべき重要な課題であると評価される。また、唯一の被爆国であるわが国が中心となってこれらを推進することは、国際的にも意義があることと言える。

提案内容は、測定技術・疫学調査とともにこれまでの実績に基づいており実現可能性は高い。実施にあたっては、各地域における調査や情報収集による成果の具体化を進め、国際標準への道筋を明確にするとともに、健康被害を調べ、将来の疫学研究の展開につなげられたい。